大浦警察署協議会第4回会議議事概要

八佣書祭者勋硪云界4四云硪硪爭帆安	
日 時	令和2年10月27日(火) 15時30分から17時00分
場所	大浦警察署 3 階講堂
出席者	1 協議会 大戸会長 山田委員 東委員 齋藤委員 深堀委員 嶺委員 2 警察署 植木署長 松本副署長 宮崎警務課長 前田生活安全課長 白石交通課長 3 書記 警務係長
会議の状況	1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1) 「見える警ら活動等街頭活動の強化」について ア 地域警察官等による各種街頭活動の強化 自動車警ら班勤務員、交番勤務員及び駐在所勤務員並びに非 常勤職員の交番相談員による立番や警戒など各種犯罪抑止活動 を実施した。 イ 交通事故抑止に資する交通指導取締りの強化 交通事故の発生状況を分析し、交通事故の多発地点、時間帯 における交通指導取締りや、重大事故の原因となる交差点関連 違反の取締りや二輪車の取締りを強化した。 (2) 「防災対策の推進」について ア 警報発表及び災害の発生状況 大雨特別警報など各種警報が15回発表されたことに伴い、当 署に現地災害警備本部及び災害警備連絡室を10回設置した(延 べ19日間、署長以下延べ682人体制)。 9月6日から7日にかけての台風10号では、野母崎地区で観 測史上最大59.4メートルの最大瞬間風速が記録され、民家の屋 根が吹き飛ぶなどの大きな被害が発生した。 9月12日の大雨では、野母崎地区で観測史上最大1時間101. 5ミリの猛烈な雨が観測され、各地で土砂崩れや道路冠水等が 発生し、歩道を通行中の男性が、人下の影響で蓋が外れた側溝 に転落し亡くなるなど、大きな被害が発生した。 イ 災害危険箇所の把握と諸対策の推進 本年5月に管内災害危険箇所の現地確認を実施後、自治体等 関係機関と情報の共有や住民からの直接関き取り等を実施する などして管内の実態把握に努めた。 今期の災害警備においては、自治体や消防等関係機関と連携 して、台風接近時の事前避難広報や災害発生時の救助、避難誘 導、被災現場の一次措置、交通規制などを実施した。 また、台風を一次ンに向けた防災意識の高揚を図るため、ミ

ニ広報紙や県警ホームページを活用した「災害の備え」につい

ての広報活動を推進した。

ウ 関係機関との連携強化

新型コロナウイルス感染症対策のため、自治体との防災会議などが中止となる中、個別に各関連機関と協力体制を確認し、情報共有を行い連携を図った。

- 2 令和2年7月から9月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。
 - (1) 子供・女性を性犯罪等の被害から守るための取組の推進
 - ア パトロール活動の強化
 - イ 広報啓発活動の実施
 - ウ 防犯ボランティア等との連携
 - エ 実戦的訓練の実施
 - (2) 高齢者の交通事故抑止対策の推進
 - ア 高齢者交通事故の発生状況
 - イ 高齢者の交通事故抑止に向けた取組
 - (3) 事件検挙活動の推進
 - (4) 夏期における各種事故防止
 - ア 水難事故等の防止
 - イ 雑踏事故の防止
 - (5) 災害警備諸対策の推進
 - (6) 沿岸対策の推進
- 3 令和2年10月から12月までの業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。
 - (1) 年末に向けた犯罪抑止対策の推進
 - ア 街頭活動の強化
 - イ 防犯ボランティア団体や関係機関と連携した防犯活動
 - (2) 事件検挙活動の推進
 - (3) 総合的な交通事故抑止対策の推進
 - (4) 沿岸対策の推進
 - ア 沿岸犯罪の未然防止対策の推進
 - イ 国際観光船の入出港に伴う諸対策の推進

提出意見

1 特殊詐欺を含めた詐欺防止対策について

「当署管内で特殊詐欺の発生はないものの、特殊詐欺の予兆電話やSMSに関する相談はある。」との説明であったが、特殊詐欺を含めた詐欺全般の被害防止対策をお願いしたい。

2 高齢者宅を訪問しての強盗や高齢者を狙った悪質商法などの犯罪 抑止対策の推進について

全国では、

- 闇バイトとして実行犯を募り、「点検・工事」など業者を 装って高齢者宅に押し入る強盗事件
- 自然災害後に保険会社や修理業者を騙った詐欺や悪質修理 業者による被害

が発生していると聞くが、高齢者などが被害に遭わないよう、更なる犯罪被害抑止の推進をお願いしたい。

会議の状況